

月例統計報告（令和元年11月）

令和元年12月2日
企画振興部

1 秋田県の人口（秋田県の人口と世帯（月報）（令和元年11月1日現在）） 1

本県の総人口は、964,932人（男 453,777人 女 511,155人）
前月に比べ、995人（0.10%）減少
自然増減 957人の減少（出生者 394人 死亡者 1,351人）
社会増減 38人の減少（県内への転入者 780人 県外への転出者 818人）
この1年間では、14,833人（1.51%）の減少

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向（鉱工業生産指数月報（令和元年9月分）） 2

秋田県鉱工業生産指数（平成22年=100）
季節調整済指数 98.7 : 前月比 5.3%上昇（2か月連続の上昇）
原指数 97.4 : 前年比 0.2%上昇
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）
季節調整済指数 103.2 : 前月比 1.7%上昇

(2) 雇用・労働情勢（毎月勤労統計調査速報（令和元年9月分）） 3

賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出
現金給与総額 225,197円 : 前月比 6.5%減、前年同月比 3.7%減
総実労働時間 148.7時間 : 前月比 2.0%増、前年同月比 2.4%減
常用雇用指数 101.9（平成27年=100）
: 前月比 0.2%減、前年同月比 1.4%増

(3) 物価動向（消費者物価指数（令和元年9月分）） 4

秋田市消費者物価指数 102.6（平成27年=100）
前月比0.4%上昇、前年同月比は0.1%下落
全国の消費者物価指数 101.9（平成27年=100）
前月と同水準、前年同月比は0.2%上昇

(4) 景気動向（景気動向指数（令和元年9月分）） 5

先行指数 84.1 前月を1.8ポイント上回り、4か月連続で上昇
一致指数 96.2 前月を3.2ポイント上回り、3か月ぶりに上昇
遅行指数 101.4 前月を2.8ポイント下回り、2か月連続で下降

3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国） 6~7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報)(令和元年11月1日現在)」)

(1) 令和元年11月1日現在の本県の総人口は964,932人(男 453,777人 女 511,155人)となり、前月に比べ995人(0.10%)の減少となった。

自然増減 957人の減少(出生者 394人 死亡者 1,351人)

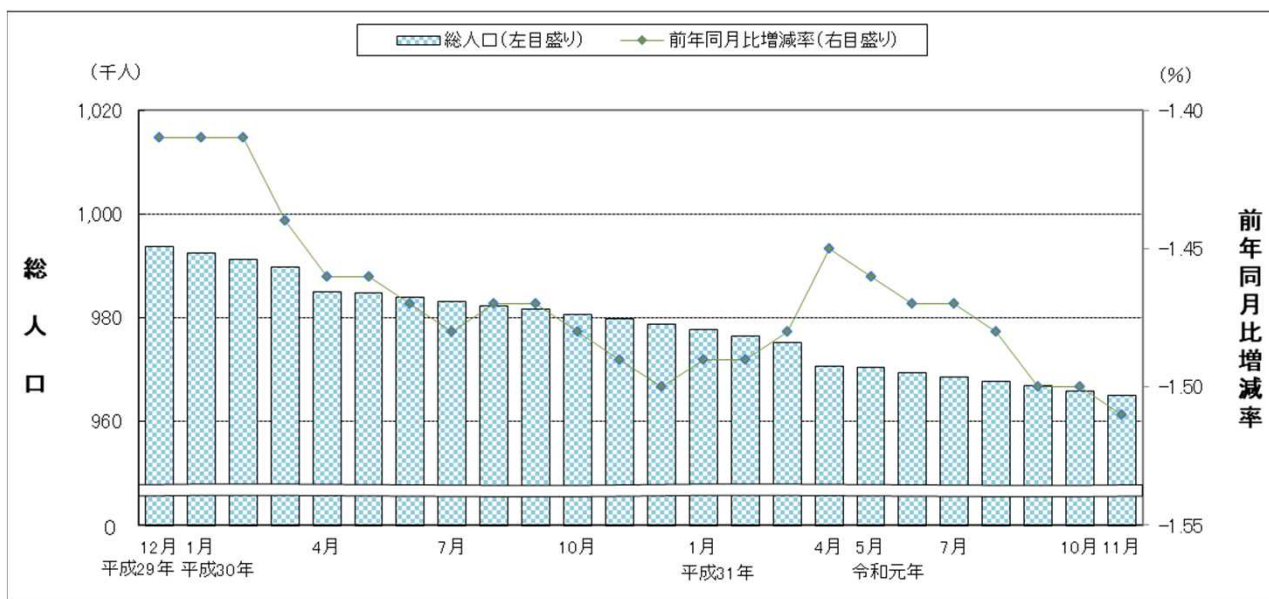
社会増減 38人の減少(県内への転入者 780人 県外への転出者 818人)

(2) この1年間では、14,833人(1.51%)の減少となった。

自然増減 10,856人の減少(出生者 4,793人 死亡者 15,649人)

社会増減 3,977人の減少(県内への転入者 12,472人 県外への転出者 16,449人)

(3) 世帯数は389,348世帯となり、前月に比べ32世帯の減少となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
H30. 10. 1 ~ R元. 9. 30	4,863	15,703	-10,840	12,618	16,535	-3,917	-14,757
H30. 11月 一か月間	410	1,307	-897	650	764	-114	-1,011
12月 "	379	1,369	-990	669	758	-89	-1,079
H31. 1月 "	400	1,509	-1,109	633	788	-155	-1,264
2月 "	379	1,271	-892	637	966	-329	-1,221
3月 "	373	1,298	-925	2,112	5,675	-3,563	-4,488
4月 "	403	1,308	-905	2,507	1,808	699	-206
R元. 5月 "	426	1,365	-939	848	943	-95	-1,034
6月 "	389	1,138	-749	706	839	-133	-882
7月 "	459	1,257	-798	1,067	1,109	-42	-840
8月 "	385	1,268	-883	1,076	969	107	-776
9月 "	396	1,208	-812	787	1,012	-225	-1,037
10月 "	394	1,351	-957	780	818	-38	-995
過去1年間の累計	4,793	15,649	-10,856	12,472	16,449	-3,977	-14,833

(参考)

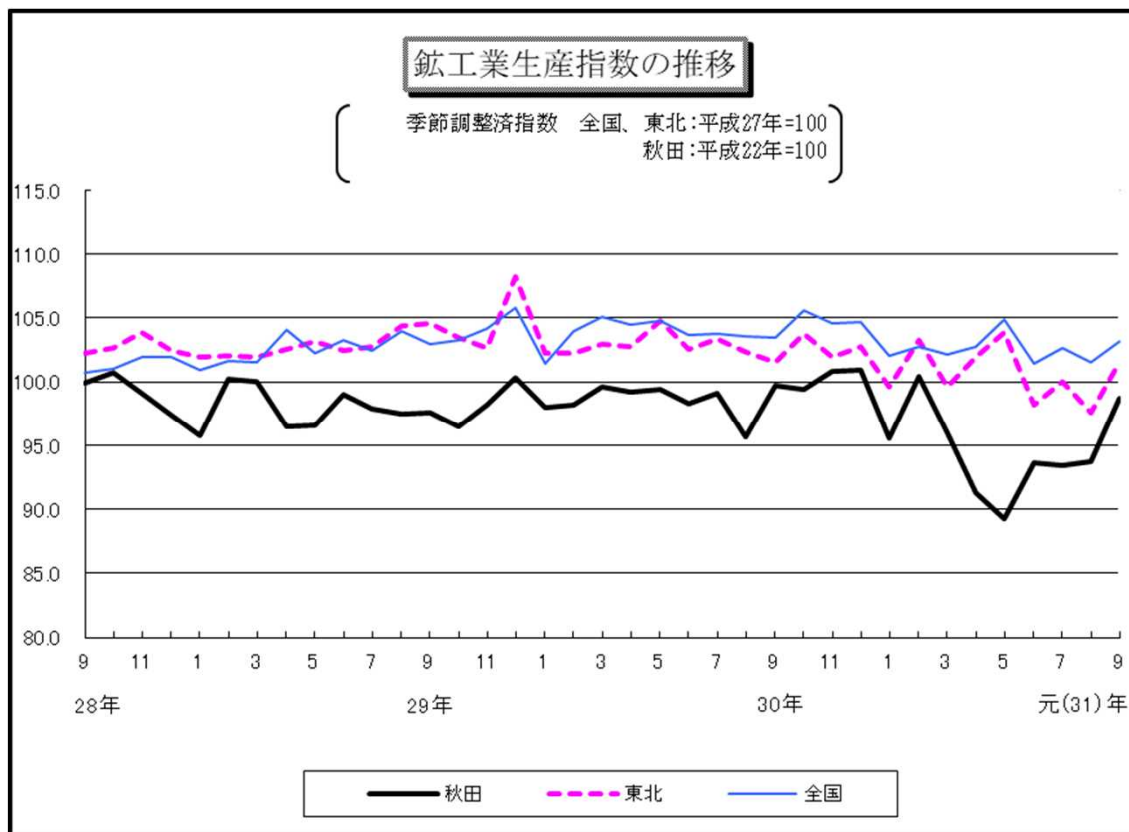
H30. 10月 一か月間	464	1,405	-941	926	904	22	-919
---------------	-----	-------	------	-----	-----	----	------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和元年9月分)」)

令和元年9月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が98.7(前月比5.3%増)となり、2か月連続の上昇となった。また、原指数は97.4となり、前年同月と比べ0.2%の上昇となった。

なお、全国の季節調整済指数は103.2となり、前月比で1.7%の上昇となった。また、東北は101.5となり、前月比で4.0%の上昇となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
はん用・生産用・業務用機械工業	121.6	28.0	産業用ロボット
電子部品・デバイス工業	99.9	1.4	モス型メモリ、機能部品
窯業・土石製品工業	74.1	18.8	生コンクリート
□低下した主な業種			
その他工業	167.1	▲ 5.6	パッキン類

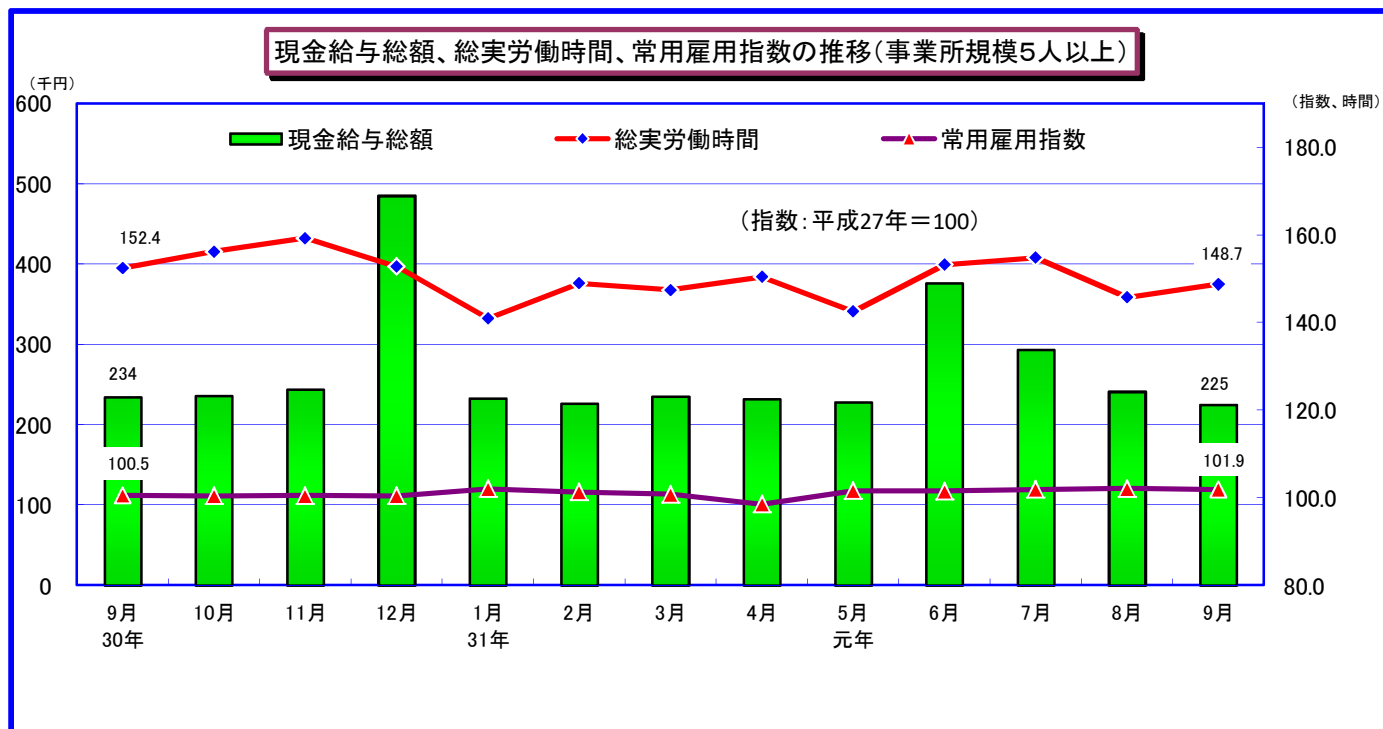
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和元年9月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和元年9月の現金給与総額は225,197円となり、前月比で6.5%の減、前年同月と比べ3.7%の減となった。

総実労働時間数は148.7時間となり、前月比で2.0%の増、前年同月と比べ2.4%の減となった。

常用雇用指数は101.9となり、前月比で0.2%の減、前年同月と比べ1.4%の増となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
情報通信業	305,628	9.7
建設業	262,568	7.2
複合サービス事業	305,294	6.1
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	131,054	▲ 33.1
教育、学習支援業	269,862	▲ 10.4
サービス業	187,324	▲ 7.9

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
(なし)		
減少した主な産業	時間	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	115.2	▲ 18.6
複合サービス事業	140.8	▲ 6.3
卸売業、小売業	139.2	▲ 5.2

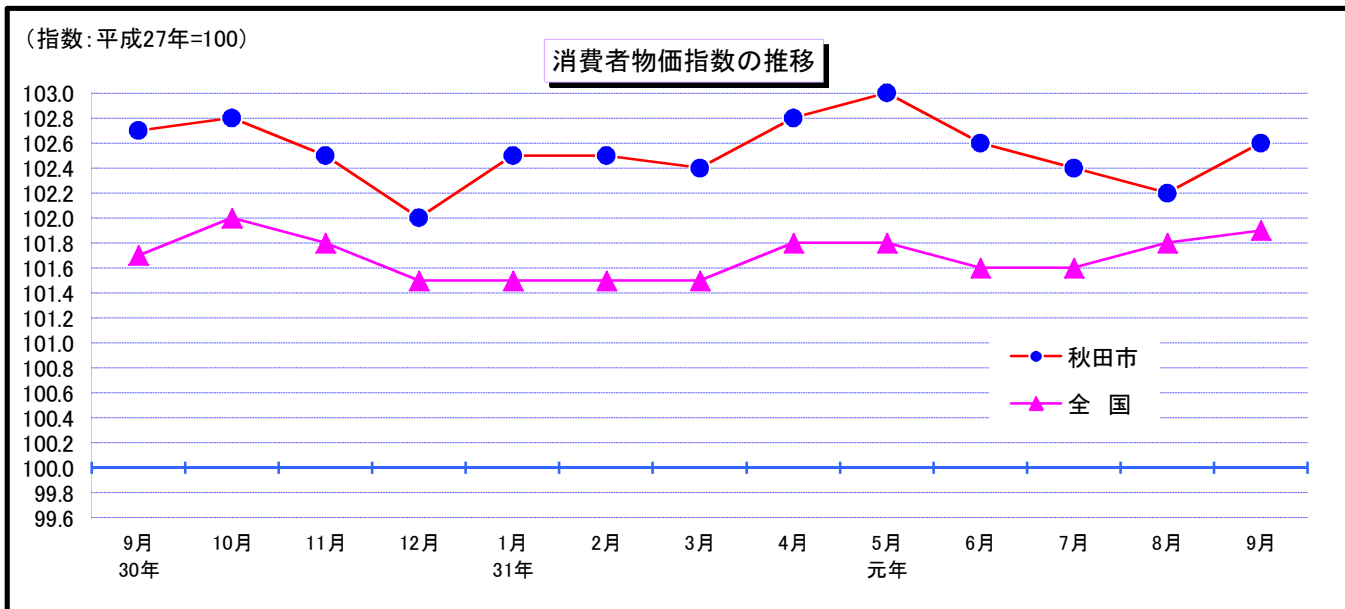
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
複合サービス事業	93.8	113.7
生活関連サービス業、娯楽業	128.1	15.0
情報通信業	143.6	8.5
減少した主な産業	指数	前年比(%)
(なし)		

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和元年9月分)」)

令和元年9月の秋田市消費者物価指数は102.6(平成27年=100)となり、前月比で0.4%の上昇、前年同月と比べ0.1%の下落となった。

なお、全国の消費者物価指数は101.9となり、前月比(季節調整値)で同水準、前年同月と比べ0.2%の上昇となった。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	食料				住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費			
	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除外	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除外										生鮮食品	生鮮食品を除く食料	
当月指数	102.6	102.4	102.1	101.0	106.0	107.0	105.8	99.7	102.7	98.3	104.0	104.5	99.1	109.9	103.7	102.9
前月比(%)	0.4	0.0	0.1	0.0	1.6	7.6	0.3	0.0	-0.5	0.8	2.7	0.1	-0.8	0.0	-0.8	0.5
前年同月比(%)	-0.1	0.2	0.5	0.2	-0.3	-5.6	1.0	-0.5	-0.7	0.7	0.7	-1.1	-0.8	-0.3	1.8	1.7

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
教養娯楽	書籍・他の印刷物	8.0	0.10
諸雑費	身の回り用品	11.3	0.05
家具・家事用品	家庭用耐久財	2.1	0.02
被服及び履物	履物類	5.4	0.03

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
交通・通信	通信	▲2.8	▲0.12
住居	家賃	▲0.6	▲0.10
食料	生鮮野菜	▲9.5	▲0.24

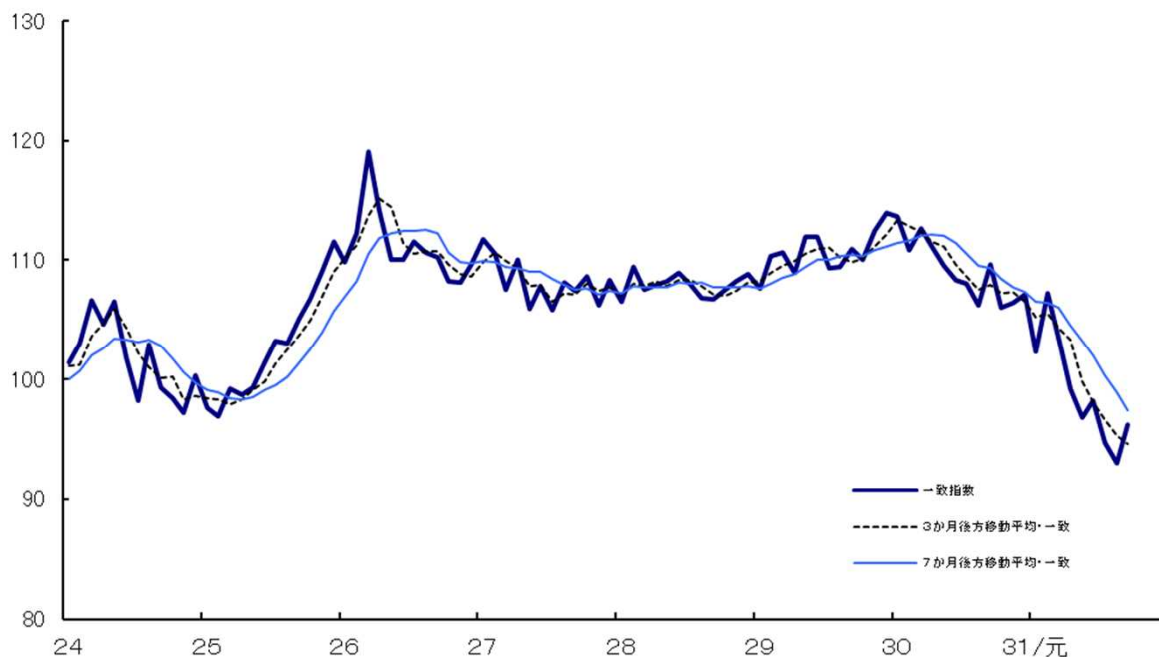
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和元年9月分)」)

先行指数 84.1 前月を1.8ポイント上回り、4か月連続で上昇した。
 一致指数 96.2 前月を3.2ポイント上回り、3か月ぶりに上昇した。
 遅行指数 101.4 前月を2.8ポイント下回り、2か月連続で下降した。

一致指数のグラフ

(平成22年=100)



年

○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.42	1.41	-0.01	-0.60
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	6.2	9.8	3.60	-0.50
所定外労働時間指数(27年=100)	107.8	110.3	2.32%	0.37
鉱工業生産指数(22年=100)	93.7	98.7	5.34%	1.21
生産財生産指数(22年=100)	106.3	107.0	0.66%	0.12
百貨店・スーパー販売額(%)	-0.4	5.1	5.50	0.95
投資財生産指数(22年=100)	85.9	101.9	18.63%	1.51
建築着工床面積(千㎡)	42	45	7.14%	0.19
CI 一致指数(全体値)	93.0	96.2	3.2	

景況ダイジェスト（令和元年11月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																																																																							
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和元年11月18日公表	<p>〔概況〕 県内景気は、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要面をみると、個人消費は、緩やかな増加基調にある。公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、増勢が一服している。設備投資は、増加しており、高めの水準となっている。 ・生産は、一部に弱めの動きがみられており、横ばい圏内の動きとなっている。 ・雇用・所得環境は、改善している。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った。 																																																																							
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 （産業政策課） 令和元年9月分 令和元年11月18日公表	<p>〔概況〕 県内経済は、個人消費は全体としては緩やかな持ち直しの動きが続き、製造業はやや弱含みの動きとなっており、雇用は高水準で推移している。</p> <p>製 造 業：一部好調な動きがみられるものの、電気機械などで減産の動きが続いており、全体としてはやや弱含みの動きとなっている。</p> <p>建 設 業：公共投資は3か月連続で前年同月を上回った。</p> <p>小 売 業：全体としては強含みの動きとなっている。</p> <p>サビズ業：全体としては強めの動きとなっている。</p> <p>〔全業種〕DI値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲3.2から▲5.1、現在の資金繰りは▲6.3から▲5.7、3か月前の業況見通しは、▲7.6から▲3.8となっている。</p>																																																																							
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和元年9月分 令和元年11月号	<p>〔概況〕 県内経済は、全体として持ち直しの動きが続く中、一部に弱い動きがみられる</p> <p>木材の生産は堅調に推移しているが、電子部品、機械金属は減少が続いている。建設は、公共工事が増加傾向で推移しているが、住宅着工は消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動などで弱い動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は一部で改善の動きが弱まりつつあるが、高水準を維持している。</p>																																																																							
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和元年11月号	<p>〔県内経済概況〕 底堅い状況ながら、持ち直しの動きに足踏みが見られる県内経済</p> <p>最近の県内経済は、足元は公共投資が引き続き増加傾向にあるものの、住宅投資は増加が一服し減少基調にあります。また、個人消費は家電販売などに消費税増税前の駆け込みの動きが見られますが、総じてみれば回復感を欠いています。この間、雇用情勢は改善ペースが鈍化傾向にあり、生産活動は主力の電子部品や機械金属の減速を映じて弱めの動きが続くなど、県内経済は底堅い状況ながら、持ち直しの動きに足踏みが見られます。</p>																																																																							
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和元年9月分 令和元年11月1日公表	<p>〔概況〕 令和元年9月の有効求人倍率（季節調整値）は1.41倍。前月を0.01ポイント下回る。（全国平均は1.57倍、前月を0.02ポイント下回る。）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月に比べて1.1%減少、有効求職者数（同）は0.7%減少した。</p> <p>① 新規求人数は8,894人、前年同月比7.7%（746人）減少。同比5か月連続で減少した。</p> <p>② 有効求人数は23,669人、前年同月比6.8%（1,739人）減少。同比7か月連続で減少した。</p> <p>③ 新規求職者数は3,840人、前年同月比5.3%（194人）増加。同比2か月ぶりで増加した。</p> <p>④ 有効求職者数は15,602人、前年同月比1.1%（166人）増加。同比2か月ぶりで増加した。</p>																																																																							
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 令和元年10月度 令和元年11月5日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（負債額1,000万円以上の企業倒産）</td> <td style="width: 20%;">倒産件数</td> <td style="width: 10%;">2件</td> <td style="width: 10%;">負債総額</td> <td style="width: 10%;">2億4,300万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年同月比</td> <td>- %</td> <td></td> <td>- %</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年同月</td> <td>0件</td> <td></td> <td>0万円</td> </tr> </table> <p>倒産件数・負債総額は共に低水準で推移</p>	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	2件	負債総額	2億4,300万円		前年同月比	- %		- %		前年同月	0件		0万円																																																								
	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	2件	負債総額	2億4,300万円																																																																				
	前年同月比	- %		- %																																																																					
	前年同月	0件		0万円																																																																					
情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和元年10月分 令和元年11月14日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="7">〔業界判断指数〕単位：%P</td> </tr> <tr> <td></td> <td>業界全体</td> <td>製造業</td> <td>非製造業</td> <td>売上高</td> <td colspan="2">収益状況</td> </tr> <tr> <td>9月分DI</td> <td>-28.8</td> <td>-28.1</td> <td>-29.2</td> <td>-22.5</td> <td colspan="2">-35.0</td> </tr> <tr> <td>10月分DI</td> <td>-38.8</td> <td>-34.4</td> <td>-41.7</td> <td>-36.3</td> <td colspan="2">-37.5</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>-10.0</td> <td>-6.3</td> <td>-12.5</td> <td>-13.8</td> <td colspan="2">-2.5</td> </tr> </table>	〔業界判断指数〕単位：%P								業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況		9月分DI	-28.8	-28.1	-29.2	-22.5	-35.0		10月分DI	-38.8	-34.4	-41.7	-36.3	-37.5		比較増減	-10.0	-6.3	-12.5	-13.8	-2.5																																						
〔業界判断指数〕単位：%P																																																																									
	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況																																																																				
9月分DI	-28.8	-28.1	-29.2	-22.5	-35.0																																																																				
10月分DI	-38.8	-34.4	-41.7	-36.3	-37.5																																																																				
比較増減	-10.0	-6.3	-12.5	-13.8	-2.5																																																																				
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和元年10月分 令和元年11月14日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="7">対前年度増減率 件数8件減少、請負金額1.4%増加 （金額単位：百万円）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発注者</td> <td>区分</td> <td colspan="2">平成30年10月</td> <td colspan="2">令和元年10月</td> <td>対前年度増減率(%)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">国</td> <td>国</td> <td>23</td> <td>1,753</td> <td>21</td> <td>1,787</td> <td>-8.7</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>独立行政法人等</td> <td>1</td> <td>69</td> <td>4</td> <td>468</td> <td>300.0</td> <td>578.5</td> </tr> <tr> <td>県</td> <td>176</td> <td>7,118</td> <td>181</td> <td>7,447</td> <td>2.8</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>市町村</td> <td>99</td> <td>3,108</td> <td>88</td> <td>2,643</td> <td>-11.1</td> <td>-14.9</td> </tr> <tr> <td>地方公社</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>3</td> <td>133</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>302</td> <td>12,182</td> <td>294</td> <td>12,348</td> <td>-2.6</td> <td>1.4</td> </tr> </table> <p>※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者</p>	対前年度増減率 件数8件減少、請負金額1.4%増加 （金額単位：百万円）							発注者	区分	平成30年10月		令和元年10月		対前年度増減率(%)		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	国	国	23	1,753	21	1,787	-8.7	2.0	独立行政法人等	1	69	4	468	300.0	578.5	県	176	7,118	181	7,447	2.8	4.6	市町村	99	3,108	88	2,643	-11.1	-14.9	地方公社	0	0	0	0	-	-	その他※	3	133	0	0	-	-	合 計		302	12,182	294	12,348	-2.6	1.4
対前年度増減率 件数8件減少、請負金額1.4%増加 （金額単位：百万円）																																																																									
発注者	区分	平成30年10月		令和元年10月		対前年度増減率(%)																																																																			
		件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額																																																																		
国	国	23	1,753	21	1,787	-8.7	2.0																																																																		
	独立行政法人等	1	69	4	468	300.0	578.5																																																																		
	県	176	7,118	181	7,447	2.8	4.6																																																																		
	市町村	99	3,108	88	2,643	-11.1	-14.9																																																																		
	地方公社	0	0	0	0	-	-																																																																		
	その他※	3	133	0	0	-	-																																																																		
合 計		302	12,182	294	12,348	-2.6	1.4																																																																		

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和元年10月30日公表	項目	内容					
		総括判断	県内経済は、持ち直している					
		個人消費	持ち直している					
		生産活動	一進一退の状況にある					
		雇用情勢	改善している					
		設備投資	令和元年度は増加見込み					
		企業収益	令和元年度は減益見込み					
		企業の景況感	「下降」超幅拡大					
		住宅建設	前年を下回っている					
	公共事業	前年度を上回っている						
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2019年9月調査 令和元年10月1日公表	[業況判断D I]		2019年		2019年		2019年	
	単位：%ポイント		6月	9月	変化幅	12月(予測)	変化幅	
	全産業		5	0	-5	-3	-3	
	製造業		-2	-9	-7	-10	-1	
非製造業		8	5	-3	1	-4		
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和元年9月分 令和元年11月14日公表	全体の動向：一部に持ち直しの動きがみられるものの、足踏み状態となっている						
		鉱工業生産：一進一退となっている						
		個人消費：足踏み状態となっている						
		住宅着工：高水準の中、このところ弱含んでいる						
		公共投資：復興事業により高水準にあるが、このところ減少している						
		設備投資：横ばいとなっている						
		雇 用：改善している						
		企業倒産：小康状態が続いている						
		管内経済情勢報告 財務省東北財務局 令和元年10月30日公表	項目	内容				
	総括判断		管内経済は、回復しつつある					
個人消費	緩やかに回復している							
生産活動	一進一退の状況にある							
雇用情勢	改善している							
設備投資	令和元年度は増加見込み							
企業収益	令和元年度は減益見込み							
企業の景況感	「下降」超幅が縮小							
住宅建設	前年を下回っている							
公共事業	高水準となっている							
全国	月例経済報告 内閣府 令和元年11月 令和元年11月22日公表	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。						
		・個人消費は、持ち直している。						
		・設備投資は、機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。						
		・輸出は、弱含んでいる。						
		・生産は、このところ弱含んでいる。						
		・企業収益は、高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は、製造業を中心に引き続き慎重さが増している。						
		・雇用情勢は、改善している。						
		・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。						
		先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。						
	企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 9月調査分 令和元年10月1日公表	[業況判断D I]		〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計
単位：%ポイント		製造業	非製造業	製造業	非製造業	全産業		
2019 / 6月		7	23	-1	10	10		
2019 / 9月		5	21	-4	10	8		
変化幅		-2	-2	-3	0	-2		